常磐毎日新聞
日刊
三月十一日夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二一〇番

草野村の更生譜

巡り會ふ春に

多年の對立抗爭解消

一村擧つて水田の二毛作

▽……無税の村出現の理想

十數年來の對立抗爭も春と共に解けて今や村民は一致團結、然も水田二毛作によつて村費の全額に充當しようといふ草野村の更生譜――かねて同村は多年村民間の對立關係から村治の運用上少なからぬ支障を招來し去る十年度には縣から經濟**更生村**として指定されながら間もなく取消されるなどこの餘波は産業組合對農會の睨み合ひとまでなるに至つた、尙從來産業**組合**で經營してゐた農業倉庫に對抗、農會側では昭和九年に籾貯藏倉庫の創設となるなど今後に多大の暗影を投げかけてゐたがこの程現村長兼産業組合長である芳賀辨之助氏等の**奔走**により漸く兩者間に蝸和を見、問題の籾貯藏倉庫は同組合に經營方を委任しこゝに前途を注目された感情的抗爭も圓滿解決を見た**模樣**である、依つて今後は村民擧げて村の更生を期すことゝなり先づ第一手段としては水田二毛作による菜種栽培を極力奬勵し行く〳〵は一戸**一反歩**當りの栽培方針を樹立した、若しこの計畫が遂行されゝば全戸數五百六十餘戸で五十六町歩、この收穫一反歩平均二俵半と見て一千四百俵、一俵十圓宛として一萬四千圓となり**戸數割**は愚か村費の全額にも充當するといふので目下着々これが計畫實行に取りかゝつて居り今後非常な期待をかけられてゐる

總裁宮殿下が成績品を臺覽

郡下各小學校が

夫々準備に着手

櫻花爛漫の四月中旬、閑院總裁宮殿下の御台臨を仰ぎ福島市に開催される赤十字支部總會に際し、縣下各小學校から圖畫、書方、手工手藝等を出陳兒童成績品展覽會を開くことゝなり、石城郡下各小學校でもそれ〴〵本郡教育の特色を現はすべく目下準備中

平商の輝く卒業生

明日證書授與

平商業學校の第十七回卒業證書授與式は既報の如く明十二日午前十時から同校講堂に擧行される卒業生八十三名中受賞者は

▼優等生 江名町加澤定雄 平町金成賢一 江名町金成新一郎 神谷村佐藤久右衛門 平町白土力男 內郷村鈴木正平 赤井村中島勝 湯本町長瀬義德

▼五ヶ年精勤 井上稔 薄葉嘉廣 大和田昌司 龜岡進一 神長倉一夫 相良豊吉 鷲谷一郎 鷲昇 志賀淸 白土力男 鈴木武二郎 須藤良平 新妻大

▼級長勤續 金成新一郎 黒川壽一 佐藤久右衛門

の諸君であるが卒業生の氏名は左の如くである（五十音順）

會川太平 會澤定雄 秋山義雄 荒木勝彌 赤津康 猪狩孝夫 磯野長一 井上稔 石川榮一 薄葉嘉廣 牛久隆夫 大井川光男 大和田昌司 大越孝一 大平兵一 加藤與吉 加澤定雄 龜岡進一 金成賢一 神長倉一夫 樫村吉一 金成新一郎 蒲田力之助 木村俊男 北林義雄 鯨岡登一 黒川壽一 近藤敬 後藤英一 酒井長治 相良豊吉 鷲谷一郎 佐藤幸男 佐藤久右衛門 佐藤又十郎 坂本昇 坂本和平 齋藤之男 佐藤寛文 齋藤一郎 佐々木義良 鷲昇 志賀清 白旗安雄 白土力男 鹽澤友吉 篠原孝欣 菅原眞一郎 鈴木重夫 鈴木二郎 鈴木義宗 鈴木正平 鈴木鐵生 鈴木武夫 鈴木義敏 鈴木武二郎 須藤良平 高木光行 田口眞美 中島勝 長瀬義德 中田義一 中根正博 新妻大 根本淳平 根本浩 原田知良 橋本貞吉 芳賀弘 久田定男 松本茂忠 松本貞雄 松本浩平 馬目健治 山野邊義雄 吉原利雄 吉田喜一 和田祥之亮 渡部潔 渡邊眞行 渡邊廸之 渡邊勝美 藥谷泰雄

天氣豫報

今晩は東の風雨
明日は北東の風曇後晴風强かるべし

平商卒業生 就職別

別項平商業學校卒業生の志望及び就職別は左の如くである

東京鈴鹿商店一、東京瀧富商店三、東亞企業會社一、福島縣農工銀行一、昭和人絹會社一、磐炭三、東京石山商店二、同猪田商店一、入山二、古河炭礦三、磐城無盡會社二、日本生命保險會社二、日本製鐵兼二浦製鐵所一、國際運輸會社一、古河電氣工業會社一、東京中川商店一、南洋貿易會社一、東京松吉商店二、扶桑海上火災保險會社一、釜屋一、野村銀行一、東京純正舍一、三菱銀行二、大連汽船會社一、東京小杉會社一、三菱鑛業會社一、關內商店一、日本曹達會社一、東京木德商店一、東京六櫻社一、東京瓦斯電氣工業會社一、武藏鐵工所一、東京林商會一、東京湯淺商店一、エンパイヤ自動車商會一、税務署三、煙草專賣局二、鐵道四、郵便局一、自家營業二一、中野高等無線電信講習所一、高等商業學校三

狂亂□三つ巴の

桃色遊戲にふけり

昏々眠る淫蕩の女

自殺と合點大騒ぎ

前借詐欺暴かる

平町南町某家に九日夜間借した斷髮洋裝の女が同夜廿才前後の男五名を連れ込んで散々騒いだ揚句翌十日夕刻男が全部歸つても女は昏々として眠つたまゝなので『テッキリ自殺?』と家人が早合點斯くと平署に屆け出たが女は磐崎村大字上湯長谷字力石炭礦事務員榮吉三女佐藤雅子（一八）假名で同夜平町鎌田町小野塚義夫（一九）堂の前勝木信太（一九）古鍛冶町山木正雄（一九）何れも假名外二名を相手に桃色遊戲に耽つた揚句疲れきつて寢てゐたものと判明、取調べの結果同女は平町某裁縫女學校中退のバスガールくづれで同町南町河岸通り大國バー方で女給になると前借十圓を詐取した外元木靴店から價格五圓餘の女靴一足を詐取したことを自白した

身二つの女給

「薄情な男に說諭願」

昨十日夜七時頃薄情な男を說諭して下さいと乳呑兒を抱いた齡若い女が平署の人事係に馳けこんだが右は川沼郡堂島村字郡山信一妹菊地ハナ（二〇）で同女は昨年中平町三丁目カフエー米久方に女給稼業中同町八幡小路大關武夫（二五）と戀仲になり、姙娠したゝめ一時新潟縣東蒲原郡津川町の兄信一の許に歸り身二つになつて最近男の所へ來て見る冷たい態度で劍もほろゝの挨拶に思案に餘つて願ひ出たものと判明同署で男を呼び出して說諭結局毎月五圓づゝ養育料を送ることにして引下つた

平第一成績展入賞者

【手工之部】

△一年（一組）野田大和 近江英治 庄司正則 管正保 松野尾宣之 今泉雄治（二組）格和康昭 後藤昭 永山勇 桐原宗純 吉村清四郎 渡邊久仁雄 遠藤明（三組）馬目英夫 井幡豊 五十嵐駒次郎 諸橋大支郎 大原長英 小野善朗 高橋郷夫 △二年（一組）佐藤紀文 柴田章夫 鈴木碁司 本多公行 吉成英夫（二組）手塚可一 鈴木道勝 佐藤繁雄 佐々木寛 戸川一平（三組）鈴木廣男 吉成清保 鈴木久一 緑川典喜 高清水明（四組）管野遂雄 色川保三 渡邊五郎 川島勳 廣川精一 △三年（一組）佐藤孝志 鈴木章 石山遂雄 佐川光男 宇田哲男 長島利治 木村昭二（二組）小林智年 水野勝博 堀亮 小野弘雄 鈴木利彌 猪狩正男 稻川幸一（三組）山崎慶一 三浦佐三郎 梶原光雄 兒山亘 菊地嘉昭 安齋徹 菅孝 △四年（一組）小泉泰司 蛭田貢司 馬目隆雄 鈴木壽太郎 佐川英一 卜部正男（二組）志賀惠三 小野健二郎 江尻正美 安田不二雄 古市光之 吉田昌八（三組）菊地武彦 森山燕 田代浩康 早川昭夫 本多英夫 大和田一郎 △五年（一組）三浦甚一郎 菊地良夫 佐藤利男 佐藤善一 吉田利雄 諸橋政良（二組）關內正雄 佐藤信男 遠藤林太郎 橋本博行 丸山政利（三組）鈴木德次郎 加藤慶祐 片寄正男 鷲谷淸 吉田信夫（四組）河野光男 正木弘一 小林燕 高野秀三郎 樋口博尙 △六年（一組）小野晃平 野田臣男 馬目欣之助 安澤和夫 大垣健次 吉田敬治 中澤幹太郎（二組）大谷繁雄 馬上俊二 田口幸男 三片英治 鈴木新太郎 吉原正 小関非邦夫（三組）大森英治 牧野好夫 鍋田三省 齋藤晃一 加藤吉三郎 伊藤勇 松本四郎 △高一（一組）小野正吉 三村芳夫 佐藤豊治 齋藤修三 市毛光夫 白土武治 塙秀一（二組）増子久雄 矢代弘淑 眞田八郎 島田幸平 大原英保 △高二（一組）古舘正次郎 高橋幸四郎 永山不二彦 伊藤俊夫 大島大三 沼田重次 強口昌良（二組）佐藤克四郎 松永好正 緑川龍 鹽田郷男 江尻英男

生徒達の師走

勵む勉學

樂しい休みを目前に控へて

學生にとつて唯一の樂しみである學期末休暇は今や目前に迫つてゐるが磐中、磐女、平商共卒業生を除いては何れも成績考查中で生徒も今週一ぱいはめまぐるしく頭を惱まさねばならないがこれが濟めば進級といふ樂しい日が訪れてくるのでそれを待ち焦れてゐる學生達は目下一生懸命勉學にいそしんでゐる、やがて進級の曉は襟章も輝しく、遠方から來てゐる生徒も溫き父母の膝下にかへつて兄弟に姉妹にそれ〴〵報告し一週間乃至十日間休んで晴れの校門をくゞるわけである

連日の求人攻め

轉手古舞ひの紹介所

又も大量二百名

日立製作所、芝浦製作所その他全國の紡績工場等々から求人申込殺到した平職業紹介所へまた〳〵伊達郡立子山村並に同飯野村から土工夫各百名計二百名の大量申込が舞込み同紹介所職員は全く轉手古舞の多忙を極めてゐる

即ち今回の募集は東北振興關係の發電所が出來るためこれのコンクリート基礎工事に使役されるもので資格は十八才以上四十五才迄の男子、賃金は日給一圓であるが希望者は同紹介所宛申込まれたい

木工の講習始る

けふの參加者三十餘名

平町有數の産業たる木工製作品の向上發達を圖る木工製作品講習會は既報の如く平町建具指物業組合主催、町役場、商工會後援の下に今十一日から平商業學校を會場として開催、向ふ十日間行はれるが參加者は三十餘、講師は縣商工課木工技師及び商工省工藝指導員この三氏で講習會の結果は在來の技術に嶄新な近代的意匠考案等を附加されるため今後の平木工界の發展は充分期待されるものである

昭和人絹日給値上

新工場增設

錦村昭和人絹工場は昨日男工の平均日給五錢、女工二錢の値上げを發表二十一日から實施する事になつたが物價騰貴の折柄從業員は非常に喜んでゐる、尙同社は吳羽紡績合併に依り錦[illegible]西側空地三萬坪に百萬圓計劃で新紡糸工場（紡糸機四十臺）を增設、日產二十五トンを目指して飛躍することになつた由

相場强腰

販聯の俵米

石城販聯の俵米定期共販は今十一日午後から平町農業倉庫で行はれるが出荷は左の如く計七百二十三俵で相場はやゝ强腰を豫想されてゐる

平一號三六俵、神谷一〇九、小川五〇、草野四九八、平窪三一、勿來八四、大野一六三、飯野一二、平二號一四〇（双葉米）

恐怖のチブス

又も新患者

昨秋から初冬にかけ本郡炭礦地帶好間川流域に發生した腸チブス禍は縣當局並に地元各町村の豫防施設の徹底によつて新春と共に漸く終熄を見たが最近再び平町地方に傳染病が發生、恐怖せしめてゐる、即ち白銀町と古鍛冶町から嬰兒二名がこの程チブスと決定隔離されるなど二月以降の傳染病患者が九名に上つて居り町當局もことには萬全の豫防策を練つてゐる

釣錢さぎ

即決で懲役

既報『百圓札で小錢がない』と僞り釣り錢を騙取した安積郡赤津村生れ目下住居不定詐欺窃盜前科七犯宮島松三郎（五二）に係る詐欺事件の公判は今十一日午前九時から平區で中島監督判事係り櫻井檢事立會の下に開廷檢事から懲役六ヶ月を求刑即決懲役六ヶ月の判決を言渡された

診療所

郡下一ヶ所

草野村に開設

三井報恩會の寄附金一ヶ所千五百圓の交附により今年度に於て醫師なき町村として本郡下では草野村に來る三十一日から診療所が開設されることゝなり主任醫師は千葉縣大原町鈴木喜助氏に決定した

磐女籠球主將

無試驗で女大へ

磐女四年生籠球部主將として活躍した匠部トシ子さんは日本女子大學から成績優良に付無試驗で入學を許可する旨昨日母校宛通知があつた

磐女卒業生

磐城高等女學校の第二十五回卒業式は既報の如く來る十八日午前十時から擧行されるが今年度卒業生は百八十九名である

磐女生見學

磐女四年生は新妻敎諭外各係敎諭引率の下に今十一日片倉製糸工場を見學したが明十一日は平病院、十二日は瓦斯會社を見學する由

磐女の試驗

磐女三年生以下の學年末試驗は今十一日から開始された

勿來國防婦人

出身兵を慰問

勿來町國防婦人會では過般開催した敎育映畫大會で純益金百二十餘圓を得たので會旗を作製、更に同町出身現役兵四十八名に夫々慰問品を贈つた

志願者調べ

（十日現在）

▼磐中 一八
▼平商 二四
▼磐女 九五

第一校考查

平第一校は既報の如く今十一日各學年一齊に算術の學力考查を行つた明十二日は讀方、十三日は雜問の考查を行ふ筈

小名濱豫算

小名濱町十二年度豫算町會は十六日午前九時から開く

植田方部敎育行事

石城郡小學校敎員會第一區總集會は來る十四日午前十時から植田町小學校に開き十二年度の敎育行事につき打合せを行ふ

マネキ
十日 替り

△世界館 松竹京都、第一映畫社、新興寛プロ合同出演、阪東好太郎山田五十鈴主演『義士外傳四十八人目』寛プロ特作オールトーキー嵐寛壽郎大猛演『鞍馬天狗宗十郎頭巾』日本最初の女流監督坂根田鶴子女史監督作品、月田一郎、大倉千代子主演『初姿』外陸軍記念日に因み發聲ニュース『備へよ防空動亂のスペイン』等上映される筈 料金二〇セン

△平館 日活大作時代劇トーキー尾上菊太郎主演『弦月浮寢鳥』日活特作トーキー吉屋信子原作、小[illegible]、黑田記代、島耕二、西條エリ子主演『追憶の薔薇』前後篇同時上映、外東京紅舞劇團群司のぶ子孃一行の實演餘『與新舞踊女馬子』『樂しかつたわね』『アクロバットダンス』『舞踊お夏清十郎』『ダンス隣の娘』『コント釣』『ダンス[illegible]』『舞踊伊達奴』『ナンセンス自動車』 料金二〇セン

平町人事

回出生

△正月町五吉田松吉氏五男照夫さん

回死亡

△正月町五吉田照夫さん（一ツ）

平職業紹介所報告

回求人之部

△女中炊事婦 三十五才 高一修
△女中 十七才 高卒
△女中 二十二才 高卒
△機械工 二十才 中卒
△アルミノ工見習 二十四才 高卒

回求職之部

△農夫年齡不問年給六七十圓

JOHK

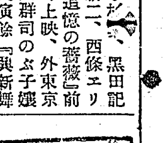
今晩の部

▼後六、〇〇 童話劇「時計屋の店で」新童話劇場
▼後六、二五 講演「雪害克服の道」松岡俊三
▼後七、三〇 科學講座「統計から見た人間と生物」寺尾新
▼後八、〇〇 なの花踊
▼後八、三五 落語「素人芝居」春風亭柳枝
▼後八、五五 チエロ獨奏 モーリスマレシャル
▼後九、三〇 時報 ニユース 明日の話題 番組豫告

明日の部

▼前一〇、三〇 婦人の時間「春を迎へる肌の手入れ」西澤勇志智
▼後〇、〇五 蓮音樂 齋藤一郎他
▼後〇、三〇 國民歌謠 立松房子
▼後二、〇〇 ラヂオ學藝大會 仙臺市立町校兒童の唱歌他
▼後五、三五 農家の時間「農家副業としての養狸業に就て」
▼後六、〇〇 お話「やさしい園藝」石井勇義
▼後六、二五 山村副業講座「山葵の栽培」淺田善一
▼後七、三〇 講演「外人渡來の今昔」新井堯爾
▼後八、〇〇 音樂と文學 グラズノフの交響詩の「ステンカラーヂン」日響、解說と指揮クロイツアー
▼後八、三〇 舞臺劇「新皿屋舗月雨暈」菊五郎一男女藏連

白馬劍風連



大島多慶夫作
井川洗涯畫
布施長春畫
（第[illegible]）村瀬春映畫

（禁上映・演劇權）

……九八……

がまんの會（十）

二人の僧の後に、黑い頭巾をかぶつた蒼顏の浪人らしいのがいかにも寒さに堪へがたいと云つた容子をして立つてゐる。

十郎左衛門は別に氣にもとめずに、ズン〳〵と前を通り過ぎやうとした。すると[illegible]右衛門の晉孫子十郎が、十郎左衛門の袖をひよい〳〵と二度ばかり引つ張つた。

「これ、晉孫子。何を[illegible]いたすのぢや」

と、十郎左衛門は[illegible]右衛門の[illegible]を見やつた。

「彼の仁が居ります。紀州浪人と[illegible]へる大[illegible]氏が……?」

「何處に」

「大[illegible]の[illegible]女[illegible]なかに交つて……?」

と、[illegible]右衛門の[illegible]十[illegible]は[illegible]の方を指したのであつた。

十[illegible]左衛門は立停つて[illegible]をこらして見た。と、[illegible]して[illegible]を下[illegible]のやうに[illegible]した大[illegible]源太が[illegible]をしながら行脚僧の[illegible]を[illegible]心に聞いてゐた。

「はゝあ。今日は妙な身裝をいたして居るのう」

と、十郎左衛門は[illegible]かに寄つて行かうとしたが、ふと思ひ[illegible]つたことでもあるやうにピタリと足をとゞめてしまつた。

「彼の仁は不思議な人でござるな」

と、[illegible]兵衛の[illegible]兵衛も不[illegible]さうに口を利く。

「化物ぢや」

「まつたく化物だ」

と、[illegible]右衛門の[illegible]十郎も十[illegible]左衛門について呟いた。

丁字風呂の二階には、[illegible]によつて[illegible]兵衛の身内の町奴どもが四五人集まつてゐた。そして、階下に[illegible]して[illegible]してゐる[illegible]の物河寺[illegible]を聞いてゐるらしい。

かうしたものには[illegible]興味をもたない十郎左衛門は、[illegible]しい友の大[illegible]寺源太が、身[illegible]きもしないで熱心して聽いてゐるのに[illegible]られたか。自分もうつかりと[illegible]く氣になつて耳を傾けてゐた。

一位の[illegible]の金が、丁字風呂の町奴の手で投げられた。つゞいて[illegible]も[illegible]布の[illegible]をといては投げる[illegible]い[illegible]の[illegible]と見えて、二人の僧の周圍には、いろ〳〵の[illegible]を交ぜて多分に[illegible]まつてゐた。

「おい。坊主。一寸待て」

と、沈默を守つてゐた[illegible]源太は、つゝと二人の前へ進んだ。

サッと[illegible]色を[illegible]へた行脚僧は源太の顏を見ると、急に口をつぐんで[illegible]な筋肉の[illegible]を見せた。

「俺はさつきから聞いて居つた。しかし、お前たちの云ふ物河寺[illegible]なるものはどうも腑に落ちない、お前たちの說いて居る佛法宗旨には佛耶[illegible]說が交つて居る。むかしは佛敎をひろめるために、[illegible]說を唱へた名僧のあることを聞き及んで居る。しかし、佛法と耶蘇[illegible]宗の一致などは前代未聞の珍說ぢや」

もう一人の行脚僧は、前に[illegible]つてゐる[illegible]の[illegible]を掻きあつめて頭陀袋へ入れてゐる。

家庭と婦人

（婦人の立場から）今日の婦人問題

石本靜枝

（うちの女房は赤ん坊ばかりこしらへて、貧さい意氣地がなくてこまる）

そんな事を仰しやる旦那さまがあります、意氣地がないつて、赤ん坊は女だけでつくるものでせうか。半分の責任は男が負はなければならないくらゐは、生理學のエービーシーもひもどいたことのないルンペン氏だつて知つてゐます。ところが

紳士 が仰しやるのですから驚きます。さうして「赤ん坊を生む女房のそばなどよりつかない」と、飛んだ口實で、遊里のちまたにばかり足をはこんで家へは歸つて來ないにいたつては、奥さんこそいゝ面の皮です

さうかとおもふと、また或旦那さまは「男が子供を生ませるんだから女が生まないなんて失敬だ」なんかと云はれます。弱い身體に度々の出産でつかれはてた奥さんが「もう

子供 は五人以上生みたくありませんわ」と嘆息すれば「馬鹿を云へ、おれはどうしても八人は生まして見せるぞ…」めんどりが卵をうむんぢやあるまいし、うませて見せるなんて、隨分勝手ぢやありませんか、こんなことを云ふのは、生活にこまらない中流以上の家庭の旦那さまに多い樣です。かういふ旦那樣の心持は私共にはどうしてもわかりません、此の方々は

奥樣 が可愛くはないのでせうか、奥樣のために、なぜ産兒制限といふことをまじめに考へてはあげないのでせうか、今時の婦人で、産兒制限に關心をもたない人はまづございますまい、相談に見える方々の貧富の惱みをうかゞつてみても、どんなに多くの婦人が、多産のためにくるしみ、産兒制限の適當な方法を要求して居られるかゞ分ります

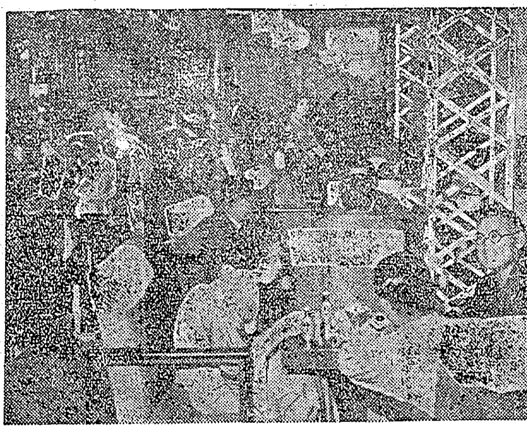
産兒制限はもう理論の時代をすぎ、實行の時機に入つてゐます

よい子をすくなくうんで

完全 に育てるのは親の義務であるのは、社會的な常識です、女にとつて出産は生命がけの仕事ですもの産兒制限は笑ひ事どころぢやありません、だのにいまだ男性のうちには、此の問題を不眞面目な享樂的なことのやうに取あつかはうとする方がすくなくないやうです。男性の封建的な思想とエゴイズムにいばらの道を歩む女性ははなはだ多いのです、男の方がもつと女の立場に同情を持つて理解されることをのぞみます

奥樣のお心得を願ふべき 御良人のお遊び振り

…女給の告白した遊び振り…



最初からチップのお話ぢやさもしいやうでいけませんけれど、昨今はチップなんかパツパと切る人はすくなくなりましたね。以前は十圓札なんかくださるのが隨分ありましたけれど、そんなのトントなくなり、中にはおいて行かない人ーチップがあるなんて次第に世智がらくなつたものですね

でも 時たまお札をもやす人がありますのよ。いやに見榮を張つてね、この間も十五圓もやしちやつた。紙幣位なんだと云つた顔つきでも、あんなの癪にさはるわイケすかない

類をもつてあつまるつてますが、若い方の行くカフエー、年とつた方の行くカフエー、ちよいと花柳界へでも足をのばさうかといふ通りかゝつた人の行くカフエー、これからホールへと云つた年格好の人のあつまるカフエーと自ら區別が出來てしまつてゐるやうで、ですから女給さんもそのお客にふさはしい年格好のがゐると云ふわけになりますね

お客 でもやはり年取つた人が信用されてますよ、若い方はサツパリしていゝ點もあるけれど、たよりないわね、それに一本氣でおこりつぽいからこわいわね

お客樣となると、えらい方でもどんな方でも差別して考へるといふ樣なことはありませんが、結局おれはえらいんだと云つた顔をしてゐる人が一番いやですね

カフエー生活で何がつらい、面白いといつたつて、毎日商賣だとおもつて出て來たんぢや勤まりませんね。半趣味になりますから、結局つらいといふことは大いに減ぜられるわけです。休日なんか、家から出て來る時に、家族連れか何んかでたのしさうに出て來る人を見ると、一寸うらやましいやうな氣がしますが、でも郊外見たいな所を通つておかみさんなんかを見ると一寸嫌惡を感じる、いろいろですわ

それ やあきらめてゐてもなみだの出る時があります。女給々々つて女給しとればこそとおもつて泣かされることがあるのです。あゝいふのはそのお客も酒飲にちかいのではありますけれどね

エロ客のへつたのは事實ですね。しかし外人のうるさいのにはこまらされます。氣味が惡いんです。よく平氣に來てね、手眞似で、隨分こまつたわ、さういふ事をする所があるからつて通じないながらも一生懸命に教へて歸つてもらつたことがありますの、本當にいやになつちまふ、そのくせ外人は一番チツプがすくないんですよ、あればサービスれう一割といふ頭があるからでせう、中には十錢位おいて行く外人があるわ、オヤ、チツプにはじまつてチツプに終りましたね、御免なさい

是非心得ておくべき 新時代婦人の禮儀作法

—新妻嗜みの巻—

晴れてはゐても、今日の寒さに「あなた、氣をつけて行らつしやいネ」と云ひながら、下の方から、そで先や胸のあたりにしわがよらないやう、兩方同時に、すべりよく着せかける外套のかるくてあたゝかい樣にと妻の心づかひ—

……○……

「デハ、行つて來るよ」

「エヽ、行つていらつしやいまし お早くネ？」

夕方までのわかれ、兩手をかさねてしとやかに見おくる會釋のつつましさ

親しい仲にも、禮儀をうしなはず、良人はそれが愛しくて

「寒いから、あんまり洗濯なんかしすぎてはいけないよ」

「えゝ、お待ちしてますわ」

……○……

時計を見ながら、待つてゐた靴音が、生き／＼と聞えてのお歸りと、たすきをはづすと、微笑みながら愛妻の出むかへ。すわつて待つ膝の前に

「只今」

「お歸りなさいまし。ホヽ」

「そら、おみやげだよ」

「まあ、お菓子？さうでせう」

……○……

疲れて歸つて來た良人に、家庭を樂園にする事を、妻がつとめの一つ！

すこしも早くお着替へ、手順よく支度しておいた和服を着せて、脱ぎ出す兩手は、そのまゝ[illegible]やすい所へ持つてゆき

「いかゞ、それでお寒くありませんこと」

「なあに……留守に、誰か來なかつたかしら？」

「ホヽ、紙屑屋さんだけ」

「アハヽ、新家庭に拂ふ物があつたかネ」

むつまじい夕食がすんで、片づけの臺所へ、その前に良人にすゝめる今日の夕刊

「いま、まゐりましたのよ」

「ありがたう。君もすこし休まないか」

「ちよつと、片づけてまゐりますわネ」

「早くお出で！小説を讀んで聞かせるから……」

「デハ、すぐにまゐりますわ。ホホヽ」

毎日のメモ

唐辛子はせう腦の代りになる

とうがら子はせう腦の代りになります。虫をふせぐ上に濕氣をふせぎますから、梅雨時にはぜひタンスや行李の中に入れておくこと、殊に農家などにむきます

課外讀本 （四月）

何がよいか？

新學期をひかへて 心すべきその選擇

の新學期を控へて可憐な兒童をお持ちのお家庭では小學校の教科書と併行的に是非お子樣方にあたへていただかなければならないのは課外讀物ですが、しかしこの讀物こそはお子樣方の心のかてだけに充分注意してえらんで與へなければなりません。このごろ兒童の讀物としては漫畫が一番よろこばれてゐるやうですがはたして漫畫ものは歡迎すべきでせうか？最近は漫畫雜誌が發刊されて、お子樣方も大變漫畫をよろこばれ、これがために新聞、本等まで漫畫が進出してゐますが、かうした漫畫一點張りなどはたしていかなものでせう、小學校のよみ物を調査して見ますと漫畫ものが入選をしてゐるといはれますが、天眞爛漫にそだてるべき子供心に、あまりにカリカチユアライズしたよみ物は考へものだとおもひます

（大人）の世界を漫畫化して子供の頭につめこむ教育はアメリカあたりで盛んにやられてゐるやうですが、それよりもむしろあるがまゝの世界を子供達に教へることの出來るよみ物をすゝめたいとおもひます。マンガものよりも情操教育に資のふかい童話もの、たとへて申しますとメーテルリンクなどの名作物語が適當でせう、子供の心をのびのびとあるがまゝにそだてたい——子供の世界の憧憬である空想もの、または科學ものを與へたいとおもひます

社會は如何なる職業婦人を求めるか

思想のしつかりした婦人

東京鐵道局

本局で主に婦人のやる仕事は、一年に十億近くも乘降する客や、品物を方向系統別に分類整理するなど實にこまかな仕事です。毎春一度試驗をして採用てから、缺員の出來次第順次補充いたします。採用條件としては、第一に人物のしつかりした人であること、健康な人であること

大勢の從業員の中にまじつて働いてゐるので、時には過激な思想に感染する人がありがちですから、この點を殊に注意し、思想的にしつかりとした人と云ふことも重要視して居ります、そのためには成るべく鐵道從業員の縁故の人を採用する方針で居ります、學歴は、女學校卒業程度年齡は二十二三才までです

明日の表題は

成丈け質素な御婦人を

三井物産株式會社

姙娠の有無を知る 新しい方法

小魚を使つて簡易

○……從來姙娠の有無をしらべるには婦人が姙娠するとその尿にはある種のホルモンがあらはれるからその婦人の尿をとりこれをコンデンスして處女兎か處女鼠の腹に注射するそして注射後二三日目にこのうさぎ乃至鼠を殺してその卵さうを檢査しそのさいもし卵さうがはれてゐたら姙娠してゐることになる

○……しかしこの方法は非常に費用がかゝるので一般の者には一寸手がだせなかつたが最近シカゴ大學の教授達がずつと簡便敏速に姙娠の有無を發見したその方法はうさぎや二十日鼠でなく小鯉に似たうぐひ類の、ビタリントといふ小魚（うさぎは一匹一弗五十セント鼠は一匹二十セントだがこれなら一匹二セント位）を使用するもので

先づ試驗してほしい婦人の尿をとりこれを一クオート（六合五しやく）の溫い水の中に茶匙一杯だけいれてまぜその中に問題のめすビタリングを二十四時間泳がせるのである

○……するともしその婦人が姙娠してゐたならばビタリングの輸卵管はぼうてうして體外にあらはれ排卵する——姙娠してゐなければもとのまゝだ試驗後ビタリングをもとの淸水槽にかへすと輸卵管のぼうてうはたちまちやみ、またさらに他の婦人の試驗臺になれると云ふわけできはめて簡單且つ低廉なのである

護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村瀬春映（畫）

……昭九九……

平和と啞（九）

「太平洋の雲行が、だいぶ險しくなつて來ましたぞ、どうぢや、あんたの研究の完成は近づきましたかな」

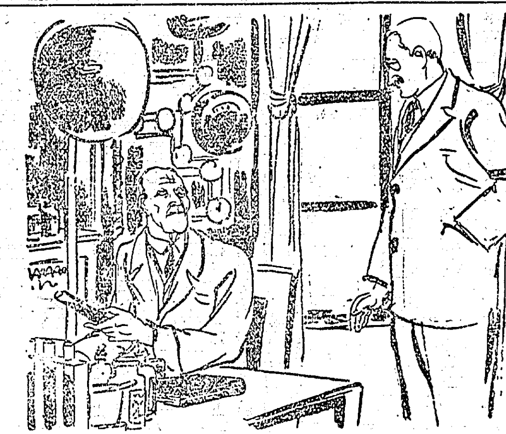
ウルリツヒ老人は、仕事をつゞけながら、

「戰爭は、いつごろかな」

「さア、その期日は、何時幾日とはつきり豫想はつかぬが、ビコルさんの戰爭工作は、もうだいぶ進行して、兩國民の感情は、とても惡化し、主戰論者が、兩國のあひだに充滿してゐるといふありさまぢや」

「なるほど……しかし、わしは、戰爭とは關係なしに仕事をしてをるよ。あんたも科學者、あまりビコルさんの企業に立入らぬやうになさるがいゝ」

老人は、どこを戰爭風が吹いてゐるかといはぬばかりの面持だ。



「わしも、元は、あんたのやうに科學者の冷靜が保てた。しかし、アメリカ合衆國の危機といふことを考へると、さすがに民族感情に支配されやすくなる、あんたは、ドイツ人であるから、こんどの太平洋戰爭には無關心でゐられるだらうが、もし、アメリカ人であつたなら、やはり、わしと同じやうに、感情を燃えることだらう」

「いや、わしは歐洲大戰當時、ドイツの危機を、アメリカにゐて知つたが、けつして、科學者としての冷靜さを失ひはしなかつた」

「しかし、それは、祖國を遠くはなれてゐたからです、わしは、わしを生んだアメリカにゐて、太平洋の危急を身に感じてゐるのだから、あんたのやうに冷靜にはなれない」

「戰爭がはじまると、では、あんたも遠征しますかな」

老人は、白金のやうに鋭く光る眼を博士にむけた。

「たぶん、國內に在つて、新兵器の創案に從事するだらう。しかし民族精神は、戰地にあると同じことぢや」

「戰爭の區切りが、どこかな。フイリツピンあたりではじまるかな」

「いや、アリユーシヤン群島の北、つまり、北洋ぢや」

「あんたの理想どほりぢやね」

「ところで、ウルリツヒ君、あんたの研究されてゐる、れいの[illegible]特殊ガスの完成が、一日もはやく完成してもらはねばならん」

「つまり、日本の北千島近海に、アメリカの大空軍の根據地を、設けようとの、あんたの計畫ぢやね」

「それが、いよ／＼、速急を要するのぢや。あんたの、科學者としての手腕にしんらいしてゐます。一日もはやく、完成してください」

ウルリツヒ老技師は、試驗管を弄びながら

「つまり、あんた方の理論は、戰爭が平和を將來する唯一の手段方法だといふわけですね」

といつた。

クーパー博士は、默想で

「そのとほり」

「すると、啞と平和とはどんな關係にありますかな」

「啞？」

「さうです。この研究所に働く、多くの從業員？は、平和の使徒といふことが出來ますかな」

ウルリツヒの質問に對して、博士は冷たく

「わしは、平和の基礎をつくるために、人類の義務として苦痛を負擔すべきだとおもふ」

「どうもわからん」

「つまり、平和工作のプランをたてる人と、苦痛を甘受して働く人々との共同勞作によつて、人類の平和がくる」

「いよ／＼わからん」

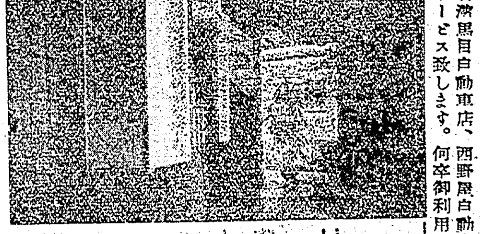
「問題は、戰爭なんだ。戰爭の慘酷が人類を平和熱愛へと導く！といふ人道主義論はもう古い、科學が平和の基礎となる時代が遂に來たのだ」

「それはわかる、しかし……」

「いや、とにかく、そのためには戰爭がもつとも合理的な方法だ。

乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自動車店、湯本驛前丸本、矢内自動車店に御座います。二人樣以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。

鐵道省指定記念
小名濱……湯本間乘合自動車
無料乘車券サービス



小瀧へ!!
◇宿泊料 1.50 2.00 2.50
（御滯在は左記料金にて中食料をふくませます）
◇日歸席料 .20
◇自炊料 .50—.80｛入湯料・室料 夜具料一切
◇料理一定食 .80 1.00 1.50
（その他一品料理洋食）
◇湯効 神經痛・リウマチス・胃腸病 痔疾・婦人病・逆上・中風・肥胖病
（內務省東京衞生試驗所檢定濟）
◇諸設備 撞球臺・高級ラヂオ・大廣間 讀書室・近代式浴場と洗面所・水洗式便所・小動物園・タクシー部 御子樣運動器具
◇名物 川魚料理（うなぎ・鯉）蜂蜜羊かん
◉女中數名入用◉
常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 御自炊 瀧の湯
電話（小名濱）103番

シネマイ 電28 福壽軒

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

春！春！
いよ／＼カメラのシーズン來る
コレは良い趣味‼カメラ趣味‼
祝 御入學 御卒業 記念に！
良く寫る東郷製
メイコーカメラの お求めを！
激しい試驗勉強につかれた身心をカメラで休養致しませう
少年練習用 一組 三十錢位ヨリ
メイコーカメラ 一個 五圓ヨリ三十圓迄
平驛前 いづみや玩具店 カメラ部

齒科口腔外科
レントゲン科
院長 東京齒科醫學士 原精一
原齒科醫院
電話三一一番 平町土橋通り

三井タクシー
平 二 電話五八六番

磐城女子洋裁學院
新學期學生募集
卓越せるデザイン教授
ミシン使用無料
材料貸與
新學期開始……四月五日
學則送呈（郵券二錢封入）
平二丁目二番地

御贈答に……
鰹節
新發賣 貝燒罐詰
美味 鰹鹽から
干やなぎ
魚問屋
志賀盛榮商店
平町四丁目（電話二一三番）

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 體溫計 寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
開内藥局 電話四〇番
寫眞材料一式販賣致シマス

花柳病科 外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際 電話三〇九

石炭 コークス 豆炭
阿部石炭店
平驛前 電三十七番

外科
專門 X光線科
上田外科醫院
平町南町 電話二九番

産婆看護婦 生徒募集
◇願書締切 四月五日
▽詳細ハ問合セ下サイ
石城産婆看護婦學校
平町搔槌小路（元一丁目） 電話357番

レール 鐵管 入荷御案内
新品に劣らぬ品・値段格安
中古十二封度レール（附屬ペーシ）
中古鐵管 二吋、四吋、六吋管
右入荷致しました、賣切れぬ内に何卒御用命の程御願致します
海軍工廠御用達 井尻七三郎商店
出張所 福島縣平町鍛冶町十一 電話五二二番
本店 大阪市南區空堀町三十三番地 電話中東五三三四番
支店 吳市藏本通十一丁目一番地 電話二一二〇番

カーテンとリノリームの御用は！
大谷建材店
平町紺屋町 電話三六六番

若き日の思ひ出に
是非!!! 記念撮影を
皆樣の御進級と御卒業をお喜び申上げ破格の割引を致します何卒御來館下さい
◎晝夜間撮影
宮田寫眞館
平町鍛冶町 電話二四六(呼)番